

糸満市 与座区自治会

集落
部門

伝統文化の承継と世代交流や住民団結によるふるさとづくり (令和元年度認定)



与座区自治会のシンボルである「与座ガ－」は、農業用水の取水源となっており、そこに住み、暮らす人々の営みを感じ、「癒しと安らぎ」を与えてくれる憩いの場となっている。昭和40年代まで、日頃飲む水は与座ガ－から取水した簡易水道の水だった。簡易水道が廃止された現在は、「与座ガ－公園」として整備されており、夏休み期間中などは子ども達の水遊びする姿が見られ、親子連れで賑わっている。

与座区集落では、戦前、戦後と約260年前から引き継がれる「与座大綱引き」、「与座臼太鼓(ウシデーク)」などの伝統文化・芸能を、世代間交流や住民団結により大切に守り育てている。大綱引きは、住民総出で東西に分かれて実施され連帯意識を高める場となっている。与座臼太鼓(ウシデーク)は、1987年(昭和62年)に復活し、今年が臼太鼓保存会ができて31年目の実施となる。

また、納涼夏祭り、敬老会・十五夜村あしび、区民運動会、作品展示会、合同生年祝いなどについて40年以上の自治会行事として実施されている。

このように、多面的機能の保全や伝統文化の継承等を通した「ふるさとづくり」に取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



農業用取水場



与座ガ－の水遊び風景



与座大綱引き



与座臼太鼓(ウシデーク)



敬老会・十五夜村あしび



合同生年祝い